

IPO銘柄 エボラブルアジア (6191・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6191	100株	公募: 62.00万株 売出: 37.72万株 (OA14.95万株)	1,660円~1,800円 (30.4倍)	SBI証券

■ 日程



大手企業とも取引多いオンライン旅行会社

■ 事業内容

オンライン旅行事業とITオフショア開発事業を手掛ける。オンライン旅行事業の国内航空券の販売が中心で、オンライン旅行会社としては唯一すべての国内航空会社のチケットを取り扱う。オンライン旅行事業内の訪日旅行事業では、自社直営サイトを多言語対応し、オンライン旅行事業で蓄積したノウハウを訪日外国人向けサービスとして展開中。ITオフショア開発事業はベトナム子会社が手掛ける。従来の受託型開発とは異なり、顧客企業の選出したプロジェクトマネージャーがベトナム人スタッフと専属チームを組んで開発を行う、ラボ型開発という形態で行っている。16年9月期第1四半期(15年10~12月)の売上高構成比は、オンライン旅行事業が67.5%、ITオフショア開発事業が32.2%、その他事業は0.3%となっている。

■ 特徴

国内・海外航空券を簡単に比較・予約できるサイトや、海外ホテル予約サイトを運営し、主に個人向けに販売。OEM(相手先ブランドによる生産)で、航空券や、旅行・ホテル商材を他社媒体へ旅行コンテンツとして提供も行っている。取引先には旅行会社のJCBトラベル、近畿日本ツーリスト、旅行サイトのDeNAトラベル、トリップアドバイザー、トラベルコちゃんなどがある。

アナリストコメント

■ 定量分析

16年9月期の連結経常利益は前期比47.2%増の4億4,900万円を計画する。BtoBにおける新規顧客獲得のための広告施策強化や、法人向け出張手配クラウドサービスの拡充などの施策を強化している。訪日旅行事業多言語対応サービスなどで新規顧客獲得が進んでいる。

■ 定性分析

オンライン旅行会社で、ビジネスモデル自体には特段の斬新さはないものの、大手企業とも多く取引を行う有力ベンチャー。足元の業績は高成長しており、中期的な成長イメージも強い。訪日旅行事業を手掛けており、インバウンド関連のテーマにも乗っている。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約21億円。新興市場上場案件としては荷もたれ感のある水準となっている。また、ベンチャーキャピタル保有株が存在し、それも需給面への懸念材料となる。3月31日は同社とPR TIMSの2社が上場する予定。(小泉健太)

■ 類似企業

エボラブルアジア (6191・マザーズ)	予想PER30.4倍 (仮条件上限)
アドベンチャー (6030・マザーズ)	予想PER —
カカコム (2371・東証1部)	予想PER35.0倍

■ 引受証券

SBI証券、岩井コスモ証券、エイチ・エス証券、岡三証券、東洋証券、マネックス証券、水戸証券、藍澤證券、エース証券、日本アジア証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
14年9月期(実績)	1,451	—	93	—	44	—	9.8	—
15年9月期(実績)	2,754	89.8	305	3.3倍	172	3.9倍	37.7	—
16年9月期(会社予想)	3,669	31.9	449	47.2	270	57.0	59.2	—

※ 14年9月期より連結決算。15年12月に株式分割(1株→300株)を実施。14年9月期、15年9月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年9月期	15,250	1,273	201	215	37.0	13.3	30.9
15年9月期	15,250	2,064	397	215	74.7	16.5	67.5

※ 14年9月期および15年9月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	大石 崇徳	2,715,900	53.41
2	吉村ホールディングス	1,404,000	27.61
3	Fenox Venture Company IX,L.P.	269,100	5.29
4	笹沼 泰助	127,200	2.50
5	ベクトル	76,500	1.50
5	山下 大介	76,500	1.50
7	Fenox Venture Company III,L.P.	42,300	0.83
8	柴田 裕亮	33,000	0.65
9	松濤 徹	30,000	0.59
10	秋山 匡秀	28,500	0.56

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	吉村 英毅
取締役会長	大石 崇徳
取締役CFO 管理部管掌	柴田 裕亮
取締役CMO マーケティングソリューション室管掌	松濤 徹
取締役	小林 孝雄
常勤監査役	若林 嗣弘
監査役	岡田 雅仁
監査役	天屯 吉明
監査役	森田 正康

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会